

EV・PHVの普及に向けて

「EV・PHVタウン」の推進

地球温暖化を防ぐため、自動車から排出される二酸化炭素の削減対策として、電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド自動車（PHV）の普及が期待されています。

本県では、EV・PHVの本格的な普及に向けて「EV・PHVタウン」モデル事業を推進しています。

「あいちEV・PHV普及ネットワーク」

モデル事業を推進するため「あいちEV・PHV普及ネットワーク」を設立し、車の率先導入、充電インフラの整備、普及啓発などに取り組んでいます。

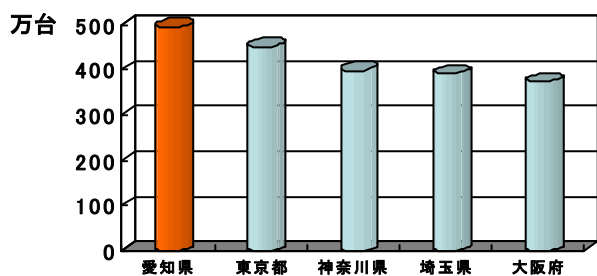
ネットワークには電力会社、自動車メーカー、市町村、充電器メーカー、スーパー等の小売店など、EV・PHVの普及に連携・協力して取り組む多数の企業や自治体が積極的に参加しています。



愛知県で普及に取り組む背景

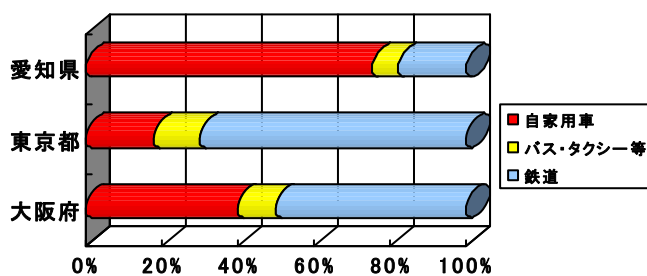
愛知県は、自動車生産の世界的な拠点ですが、自動車の保有台数も約 495 万台（全国第 1 位）と多く、移動手段として自家用車を利用する割合も約 75%と高いことから、EV・PHVの普及拡大は、二酸化炭素の削減に大きな効果があります。

自動車保有台数が全国一



平成 21 年 3 月末現在
資料：財団法人自動車検査登録情報協会調べ

自動車への依存率が高い



平成 19 年度
資料：旅客地域流動調査（国土交通省）

詳細は…

「ネットあいち」EV・PHVタウンについてのWebページアドレス
<http://www.pref.aichi.jp/O000024415.html>

あいちEV・PHV普及ネットワーク事務局
愛知県環境部大気環境課地球温暖化対策室
電話：052-954-6217

電気自動車と プラグインハイブリッド自動車

EV・PHVについて

電気自動車（EV）・プラグインハイブリッド自動車（PHV）は、低炭素社会づくりのため普及が期待されている次世代自動車の一つであり、電気走行時には二酸化炭素を全く排出しません。

◆EV（電気自動車）

電気モーターを動力として走行する自動車で、家庭用電源から充電できる。航続距離はi-MiEVの場合で最大160km。



i-MiEV（三菱自動車工業）



リーフ（日産自動車）

◆PHV（プラグインハイブリッド自動車）

ハイブリッド自動車をベースに、家庭用電源から充電できる機能を追加するなどした、電気自動車としても利用できるハイブリッド自動車。



プリウス プラグインハイブリッド（トヨタ自動車）

充電設備について

EVやPHVは、外部の電源から充電をする必要があります。

充電方法には家庭用電源から充電する方法のほか、EVの場合は急速充電器で充電する方法もあります。

◆普通充電設備

家庭用コンセントや、一般的な電源を利用した充電設備。整備のコストは低いが、充電時間は長い。（家庭での充電で、8～14時間で満充電）

[普通充電スタンド]



（豊田自動織機）



（パナソニック電工）

◆急速充電設備

高出力（50kW）で充電する充電設備。利用電源、設置費用も含めた整備のコストは高いが、高電圧で充電するため、充電時間は短い。

（10～30分で80%充電）

[急速充電器]



（高岳製作所）



（ハセテック）